

(17)六ツ川中学校「豊かな心の育成」推進プラン

学校教育目標

生徒・職員・地域がともに学び(知・開)、創り(徳・公)、生きる教育(体)をすすめます。

生徒の実態

「きまりを守り、挨拶を自分からする」「一生懸命取り組んでいる事がある」「最後までやり遂げてうれしかった事がある」など自己意識が高く、9割を超えている。反面、「自分に良いところがある」と思っている生徒は5割強で、大変低い。また、他者を思いやって人と関わることや心情豊かで自他を大切にする姿勢に欠け、課題である。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

「想像する力」「やりとげる力」の二つからなる“自立のための基礎力”の育成を本校の求める生徒像(ゴール)として、すべての教育活動を通して推進します。

「想像する力」「やりとげる力」は次の7つの能力要素から構成されています。

～ 計画力・発信力・傾聴力・状況把握力・主体性・実行力・規律性 ～

- ◆重点取組として本校のスローガン「あ・せ・か・け」運動に地域を巻き込み、取り組みます。

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・道徳の授業を充実します。心のノートや道徳教科書を活用する。【視点1、2】
- ・全校道徳を実施します。【視点1、2】

視針2 体験活動の充実

- ・1年校外学習での人間関係づくりプログラムを実施します。【視点3】
- ・2年自然教室では、人と自然とのふれあいを体験します。【視点3】
- ・1、2年次で職業体験学習を実施します。【視点4】
- ・地域清掃活動や通常の清掃活動に重点を置いて取り組みます。【視点5】
- ・ボランティア活動(祭りの手伝い、地域敬老会との交流、昼食会への手伝い、地域ケアプラザサポート)に取り組みます。【視点4】

視針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・ボイスオブユース、人権作文、国際平和スピーチコンテストなどに取り組みます。
【視点6、8、9】
- ・チームによる生徒指導や生徒理解に努め、教育相談活動を実施します。【視点7】
- ・特別支援教育に関する教員のスキルアップを図ります。【視点8】
- ・ユニセフ募金活動を生徒が主体となって行います。【視点9】

指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・「朝読書」の時間を設定し、読書活動を推進します。【視点11】
- ・読み聞かせを年間3回実施し、優れた作品に触れます。【視点10、11】
- ・修学旅行で京都や奈良の優れた文化、芸術に触れます。【視点10】